

農山漁村は日本の命綱。

進藤かねひこ



さと郷はみんなの宝

自由民主党参議院比例区(全国区)支部長
全国土地改良政治連盟顧問・技術士(農業部門)
元農林水産省中山間地域振興課長

進藤かねひこ 検索

進藤かねひこ プロフィール

昭和38(1963)年、秋田県協和町(現大仙市)に、4人兄弟の末っ子として生まれる。

小・中学校は地元で過ごし、高校は秋田市で寮生活。生徒会長を歴任し、中学では秋田の全県野球大会で優勝。高校では全国作文コンクールで2年連続最優秀賞受賞。

岩手大学農学部で農業土木を学び、昭和61(1986)年卒業後、直ちに農林水産省入省。本省を皮切りに、九州・北陸・関東農政局管内、在チリ日本国大使館、熊本県庁で勤務。農林水産省中山間地域振興課長で退任。

平成27(2015)年9月、自民党参議院比例区(全国区)支部長に就任。

解説

参議院比例代表(全国区)の投票方法



候補者名の投票数の多い順に当選者が決まります。

参議院の全国比例代表は、「候補者名」を書く選挙です。
(政党名でも可)

進藤かねひこ後援会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33-9 グリーンビル3F
TEL.03(6435)7882 FAX.03(6435)7883

後援会入会討議資料

馬や牛と一緒に過ごした農村育ちの私は、日本の農林水産業と農山漁村を元気にしたい一心で、農林水産省に入省しました。

猛吹雪の中の徒歩での通学経験から、「いつか吹雪は止み、必ず雪は溶け、春が来る」ことを体感し、培った粘り強さで、農山漁村の防災・減災はもとより、農林水産業の基盤の長寿命化を徹底し、国際化の進展にも対応できる競争力のある強い農林水産業の基盤整備のために全力を傾けるべく、この度の決断をしました。

世界に誇る日本の美しい農山漁村を、末永く子どもたちに引き継いでいくために、私は皆様と手を携えて、汗を流していく覚悟です。

どうか皆様のあたたかいご理解とご声援をよろしくお願いいたします。

進藤かねひこ



進藤かねひこは、“農山漁村は日本の命綱”を旗印に、
「**3つの約束**」と「**6つの全力**」を誓います。
それらの実現のためには、強い政治力が必要であり、
幅広い国民の皆さんの理解と農林水産業の基盤を支える皆さんの結束が
その源泉になると考えます。

進藤かねひこ **3つの約束**

安心安全な
食を守り抜く！

大切な農林水産業の
基盤を守り抜く！

美しい日本の
郷を守り抜く！

進藤かねひこ **6つの全力**

農林水産業の基盤整備予算の確保に全力

国民の命は農林水産業の基盤が健全であってこそ支えられます。そのために必要な農林水産業の基盤整備予算は大幅に不足しています。このままでは農林水産業は土台から崩れ、日本の未来は危うくなります。安全で安心な食料の確保のために、必要な農林水産業の基盤整備予算を全力で確保します。

日本型直接支払制度などの充実に全力

地下水かん養や洪水防止、海域の確保など、農林水産業が有する多面的機能の発揮を支える「日本型直接支払制度」や「森林・山村多面的機能発揮対策」、「水産多面的機能発揮対策」などについて、地域の皆さんの声を汲み上げ、全力で制度の充実を図ります。

災害に強い農山漁村づくりに全力

近年、自然災害が急増し、また激しくなっています。農山漁村には、地すべり地帯や急傾斜地帯が多くあり、水路、林道、漁港施設などの老朽化が進んでいます。これらの対策には一刻の猶予も許されません。迅速かつ的確な対策を全力で講じます。

自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力

山から海に至る我が国の「郷」は、歴史と伝統文化に育まれた、まさに日本の宝です。しかし、それらの宝が今、危機に瀕しています。農地、森林、海域などの保全や鳥獣害対策を通じ、地方創生の土台である美しい農山漁村を、未来の子どもたちに引き継げるよう全力を尽くします。

女性の視点を大切にした農山漁村政策に全力

農林水産業や農山漁村の振興を図るためには、女性の力が欠かせません。今後の農林水産基盤づくりについても、女性の意見を踏まえた展開が重要です。女性の視点を重視した農林水産政策の展開に全力を尽くします。

農林水産業と農山漁村への国民の理解に全力

日本が持続的に成長していくためには、農村漁村が食と生活の拠点となって健全に発展していくことが必要です。農林水産業と農山漁村を国民に身近なものとし、その振興を図るために、国民の理解が得られるよう全力を尽くします。

